

生きることを大切に

小学2年 工藤 埜采可

わたしのおじいちゃんは、なくなってしまいました。2年前まではおじいちゃんのすんでいる家に行くことができました。でも、1年生になったらコロナでまったく会えていません。おじいちゃんは、わたしが来るのをまってくれました。それに、お年玉も用いしていました。だけど、おじいちゃんに会わない間になくなってしまいました。お年玉がおじいちゃんのつくえのひき出しから出てきました。今は、わたしの大じなおまもりです。

おじいちゃんのこと、人間は、さい後はいつか死ぬしかないと分かりました。わたしは、そのことを思うとふあんになります。わたしも今は生きていますが、いつか死ぬしかないので。仏教では、つぎのいのちがあるという教えですが、わたしにとってはつぎの心はぜんぜんちがうから、そのまま生きていく気がしません。わたしは、ふあんになると、くらやみに入っていく感じがしました。だから、死ぬまでにいのちを大切にしようと思います。

今は、コロナでいろいろ大へんです。コロナでおじいちゃんのおわかれもかんとんにみじかい時間でおわりました。本当は、もっとちゃんとおじいちゃんとゆっくりさよならしたかったし、おばあちゃんとおじさんたちと、もっと話したかったです。今は、コロナのことでがまんしていますが、早くおばあちゃんにだきつきたいし、おじさんたちと楽しいあそびをしたいです。わたしの知っている人と今ど会う時には、いっぱいしゃべれるといいです。長い時間いっしょにいたいです。今どあそぶ時を楽しみにしています。楽しいことや、やさしさはいつも心にのこります。わたしは、ぬくもりのいみは、気持ちにあたたくすることと思えます。